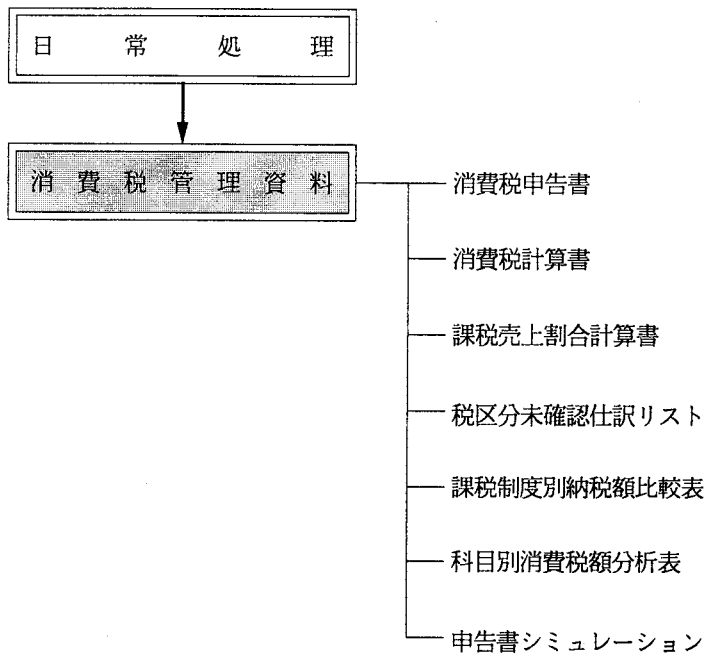


第5章 消費税管理資料

この章では、仕訳伝票入力から消費税申告書への集計と、消費税に関する比較・分析等、消費税管理資料作成とその操作について説明します。



1. 消費税申告書

仕訳処理で入力した仕訳伝票を「消費税基本情報登録」で登録した内容にもとづき、税区分ごとに集計した消費税申告書を画面表示させたり、プリンタで出力することができます。

を押すと、消費税申告書の画面になります。集計期間を選択するか、累計の場合は を押すと、自動的に消費税申告書が画面表示されます。

消費税の中間納付を行っている場合には を押し、中間納付税額を入力します。

また、プリンタで出力する場合は を押し、印刷を実行させます。

2. 消費税計算書

消費税申告書作成の基礎となった税区分ごとに集計した消費税計算書を画面表示させたり、プリンタで出力することができます。

のメニュー画面から、2. 消費税計算書 を選択し、集計期間を選択するか、累計の場合は を押すと自動的に消費税計算書が画面表示されます。プリンタで出力する場合は を押し、印刷を実行させます。

3. 課税売上割合計算書

仕訳の際、登録された税区分ごとに売上高を集計し、課税売上割合の計算経緯を画面表示させたり、プリンタで出力することができます。

のメニュー画面から、3. 課税売上割合計算書 を選択し、集計期間を選択するか、累計の場合は を押すと自動的に課税売上割合計算書が画面表示されます。プリンタで出力する場合は を押し、印刷を実行させます。

4. 区分未確定仕訳リスト

仕訳伝票の入力時に、その仕訳に対する消費税区分を未確定と登録を行っても、最終的な消費税申告書の作成のためには、未確定仕訳を本来の税区分に振替なければなりません。そこで、税区

分の際検討のためのリストが必要になります。ここでは、その区分未確定リストをプリンタで出力することができます。

のメニュー画面から、4. 区分未確定リスト を選択し、期間の指定と区分を入力した後 を押し、印刷を実行させます。

5. 課税制度別納税額比較表

課税制度の違いにより、納付すべき消費税額がどのように異なるかを計算した比較表を画面表示させたり、プリンタで出力することができます。

のメニュー画面から、5. 課税制度別納税額比較表を選択し、集計期間を選択するか、累計の場合は を押し、自動的に課税制度別納税額比較表が画面表示されます。プリンタで出力する場合は を押し、印刷を実行させます。

6. 科目別消費税額分析表

勘定科目別に、税込金額、税抜金額、個別消費税を画面表示させたり、プリンタで出力することができます。

のメニュー画面から、6. 科目別消費税額分析表を選択し、表示範囲の指定をすると指定した範囲の科目別消費税額分析表が画面表示されます。プリンタで出力する場合は を押し、印刷を実行させます。

7. 申告シミュレーション

登録された取引をもとに、期末までの予測数値を入力することにより納付すべき消費税額がどのように変化するかを画面表示させたり、プリンタで出力することができます。

のメニュー画面から、7. 申告シミュレーションを選択し、集計期間を選択するか、累計の場合は を押し、申告シミュレーションの画面が表示されます。プリンタで出力する場合は を押し、印刷を実行させます。なお原則課税と簡易課税の切り換えは で行います。